

こんな活動です

地域の子どもは地域で育てる！

～子どもたちを中心につながる家庭・地域・学校は豊かなコミュニティを創り出す～

東京都三鷹市		●活動名 おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会				●関係する学校名 三鷹市立大沢谷小学校 三鷹市立羽沢小学校 三鷹市立第七中学校				
協働活動開始年度	平成 20 年度	関係学校数	3 校	のべ学級数	40 学級	のべ児童・生徒数	981 人	●体制図 【役員会】 学園長・副学園長・CS会長・副会長 【評価部】 ・学校運営状況の点検 ・評価に関する活動 【広報部】 ・学園の取り組みの広報活動 ・地域への情報発信(HP・CSだより) 【コーディネート部】 ・部活サポート ・学習支援サポート ・見守りサポート ・みたか地域未来塾		
活動区分	学校支援活動	—		—		—				
	地域未来塾	—		—		—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数					
	4人				8人					
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有				
	平成20年4月1日指定			413人						
参考URL	www.mitaka-school.jp/ohsawa/cs_iinkai.html									
●連絡先	三鷹市教育委員会指導課				☎ 0422-45-1151					

●活動の概要・経緯

○平成20年4月に、大沢谷小学校・羽沢小学校・第七中学校の3校が、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校、「おおさわ学園」として開園した。同時に設置された、おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会では、「子どもたちを中心につながる家庭・地域・学校は豊かなコミュニティを創り出し、地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に活動している。

○地域学校協働活動として、おおさわ学園コミュニティ・スクール委員会コーディネート部が、みたか地域未来塾や教育活動を支援する「サポート隊」の運営、地域人財活用等の調整を行ってきた。地域交流活動等への保護者・地域住民の参画促進、地域の伝統文化や豊かな自然環境を次世代に継承する多世代交流活動も大切にしている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①サポート隊の活動: みたか地域未来塾の運営、校外での体験学習での安全管理や算数習熟度別指導での学習支援、小学校各クラスで読み聞かせの実施、中学校部活動での見守り。
- ②地域交流活動: 田植え・稲刈り収穫祭(地域の方から指導を受けた中学生が小学生に教えながらの活動)、ファミリーコンサート(第七中学校卒業生を中心とした武蔵野シンフォニック・ブラス・オーケストラ、中学校吹奏楽部、小学校音楽クラブの合同コンサート)
- ③「地域の皆様とお話とふれあひ会」: 学校、保護者、地域が子供たちの学びや育ちについて、目的や方向性を共有しながら支援できるよう、共通理解を図る場を設けている。学校や子供をめぐる課題解決に向けた、それぞれの立場での取組について議論し、それぞれの活動に繋げている。

【実施に当たっての工夫】

- ・活動を実施するにあたり、学校と連携し、ニーズの把握、ICTを活用して人財派遣、ボランティアの募集を行い、教員の負担が大幅に軽減されている。
- ・学習支援や授業補助のほか、見守り活動、行事の手伝いといった幅広い活動を企画し、多くの地域人財が活躍できる仕組みを作っている。
- ・各活動について、コミュニティ・スクール委員会では、毎年、保護者、地域を対象にアンケートを行い、効果を検証し、改善を加えながら、子供たちにとってよりよい活動になるよう支援している。
- ・広報部が中心となりそれぞれの活動の内容や様子についてコミュニティ・スクールだよりやホームページ等を通じて情報発信し、人財確保に繋げている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・子供たちが地域の方々と接する機会が多くなることで、思いやりの心や地域の方々と協力して活動する大切さを学び、豊かな人間性を育むことができる。また、活動が定着しており、地域の方々から信頼され喜ばれている。
- ・地域の活動として単体で行われていたものが、コミュニティ・スクール委員会が学校と地域をコーディネートすることにより、横のつながりが生まれ、地域活動に盛り上がりが出てきた。学校への理解が進み、教育活動への協力体制が広がった。
- ・ボランティア延べ参加者は2,963人、ボランティア登録者は413人もの登録があり、前年度の352人から大幅な増となっている。地域からの学校への理解も進み、教育活動への協力体制が広がっている。

●その他

学園の活動を年間を通して評価・検証するPDCAサイクルを確立しており、本地域学校協働活動についても評価・検証対象事業に位置付け、改善事項の具現化に向けて取り組んでいる。サポート隊事務局がスムーズに運営できるよう、手引き等を作成し持続可能な取組を大切にしている。



よボサ
らポ
ー
ン
ー
テ
ー
ミ
タ
カ
地
域
未
来
塾
」
に
テ
ィ
ア
学
習



学生祭東
習が：京
小地都
学域内
生たの
の方の
をサか
ー指
ト導
しな
が
け
ら
ら
取
獲
験
学